



環境都市づくり戦略合同会議

【会議メンバー】 横山副知事、大塚副知事、関谷副知事
 知事本局長、総務局長、都市整備局長、環境局長、建設局長
 (事務局:環境局)

カーボンマイナス都市づくり推進本部

本部長:大塚副知事 副本部長:知事本局長・環境局長
 本部委員:関係局部長級職員 (事務局:環境局)

各局連携を特に強化し機動的に対応するため、副知事をトップとする3つの部会を設置

省エネ・再エネ導入促進部会

■世界最高水準の省エネルギー対策・再生可能エネルギーの普及促進
 ・建築物の最高水準の省エネ・低CO₂仕様化
 ・太陽光など再生可能エネルギーの普及促進

知事本局、青少年・治安対策本部、東京オリンピック招致本部、総務局、財務局、主税局、生活文化局、都市整備局、環境局、福祉保健局、病院経営本部、産業労働局、中央卸売市場、建設局、港湾局、出納長室、交通局、水道局、下水道局、流域下水道本部、教育庁、警視庁、消防庁

(責任局:環境局)

CO₂削減都市づくり部会

■都市開発等の機会をとらえたCO₂削減対策の強化
 ■ヒートアイランド対策 等

知事本局、主税局、都市整備局、環境局、建設局、港湾局、水道局、下水道局

(責任局:都市整備局・環境局)

環境交通ネットワーク部会

■運輸部門における温暖化対策
 ・交通インフラのゆとりを活かす自動車交通対策
 ・快適で環境に負荷をかけない交通システム
 ・物流効率化、最新鋭の環境対応車普及促進

知事本局、青少年・治安対策本部、財務局、主税局、都市整備局、環境局、福祉保健局、病院経営本部、産業労働局、中央卸売市場、建設局、港湾局、交通局、警視庁、消防庁

(責任局:環境局)

緑の都市づくり推進本部

本部長:関谷副知事 副本部長:知事本局長・総務局長・都市整備局長・環境局長・建設局長
 本部委員:関係局部長級職員 (事務局:知事本局・環境局)

各局連携を特に強化し機動的に対応するため、副知事をトップとする5つの部会を設置

企画部会

■緑のムーブメントの推進方策
 ■募金の仕組みの創設

知事本局、総務局、主税局、都市整備局、環境局、産業労働局、建設局、港湾局

(責任局:知事本局)

校庭芝生化部会

■公立小・中学校校庭芝生化
 ■その他都内施設の運動場等芝生化促進

知事本局、総務局、生活文化局、環境局、福祉保健局、産業労働局、教育庁

(責任局:環境局)

身近な緑の保全・創出部会

■屋上・壁面緑化促進
 ■遊休地等、街のすきま緑化促進
 ■屋敷林、農地等、既存の緑の保全
 ■都施設の緑化促進(率先行動) 等

知事本局、青少年・治安対策本部、東京オリンピック招致本部、総務局、財務局、主税局、生活文化局、都市整備局、環境局、福祉保健局、病院経営本部、産業労働局、中央卸売市場、建設局、港湾局、出納長室、交通局、水道局、下水道局、流域下水道本部、教育庁、警視庁、消防庁

(責任局:環境局)

公共空間緑化部会

■街路樹の整備促進
 ■河川、公園等の緑化推進
 ■海の森(仮称)の整備

知事本局、総務局、都市整備局、環境局、産業労働局、建設局、港湾局

(責任局:建設局)

民間による自主的緑化部会

■都市開発事業者による自主的な緑化の促進

知事本局、都市整備局、環境局

(責任局:都市整備局)



「カーボンマイナス東京10年プロジェクト」(骨格)について

「カーボンマイナス東京10年プロジェクト」とは

◎オリンピックを梃子にした都市と社会の変革に向け、世界で最も環境負荷の少ない先進的な環境都市の実現を目指す取組

～世界一の温暖化対策で子どもたちに豊かな環境を引き継ぐ～

◎21世紀に通用する新しい都市モデルにまで高めて、アジアをはじめ、全世界に発信

10年後の東京の姿

○CO₂排出削減目標：2020年までに2000年比25%減を達成

○増大するアジアのエネルギー消費の効率化に向け、世界最高水準の省エネ技術の普及支援

取組の基本的ありかた

◆東京の総力を投入し、プロジェクトを実現する。

➢民間企業、都民を巻き込む果敢な取組

～規制と誘導を大胆に実行～

➢都政のあらゆる分野での大胆な施策展開

～民間を牽引する率先行動、各局横断による戦略的取組～

◆「カーボンマイナス東京10年プロジェクト」(骨格)をもとに、2008年度予算要求時期までにプロジェクトの事業化を図り、集中的・本格的な取組を開始。

「カーボンマイナス東京10年プロジェクト」(骨格)

1 世界最高水準の省エネ技術を活用した東京発のエネルギー戦略の展開

- ・建築物の最高水準の省エネ・低CO₂仕様化
- ・都市開発・都市基盤整備等の機会をとえらえたCO₂削減対策の強化
- ・省エネ家電の普及、住宅の省エネ性能向上など、家庭部門での取組強化
- ・あらゆる施設、機会における省エネ化の促進
都市施設や民間施設、地域(商店街等)、各種イベント 等

2 世界一の再生可能エネルギー利用都市の実現

☆100万kw相当(火力発電1基なみ)の太陽エネルギーを都内に導入☆

- ・太陽光発電の飛躍的拡大、太陽熱市場の再生
- ・バイオマス燃料の普及
- ・電気のグリーン購入推進による再生可能エネルギー需要の拡大 等

3 持続可能な環境交通ネットワークの実現

- ・交通インフラのゆとりを活かす自動車交通対策
- ・快適で環境に負荷をかけない交通システムの実現
- ・物流効率化、エコドライブ・低燃費車の普及拡大 等

4 新たな環境技術の開発と環境ビジネスの創出

- ・低公害・低CO₂自動車の開発促進
- ・先駆的な民間企業等との連携によるCO₂削減技術の開発促進
- ・研究機関、大学等との連携 等

5 カーボンマイナスムーブメント

☆CO₂削減に向けた基盤形成、アジア、世界への発信☆

- ・環境教育の拡大など、次世代人材育成
- ・世界大都市との連携、アジアのCO₂削減支援 等



「緑の東京10年プロジェクト」(骨格) について

「緑の東京10年プロジェクト」とは

◎水と緑の回廊で包まれた、美しいまち東京の復活を目指す取組
～海から緑の風が吹き抜けるまちへ～

◎既存の緑のネットワーク化推進と新たな緑づくり

10年後の東京の姿

- グリーンロードネットワークの形成
- 東京に、皇居と同じ大きさの緑の島が出現（「海の森」整備）
- 新たに1,000haの緑（サッカー場1,500面）の創出
- 「緑のムーブメント」を東京全体で展開
- 都内の街路樹を100万本に倍増

取組の基本的ありかた

◆**東京の総力を投入**し、プロジェクトを実現する。

➢**民間企業、都民を巻き込む果敢な取組**

～規制と誘導を大胆に実行～

➢**都政のあらゆる分野での大胆な施策展開**

～民間を牽引する率先行動、各局横断による戦略的取組～

◆「**緑の東京10年プロジェクト**」(骨格)をもとに、

2008年度予算要求時期までにプロジェクトの事業化を図り、
集中的・本格的な取組を開始。

「緑の東京10年プロジェクト」(骨格)

1 グリーンロードネットワークの形成

☆**海からの風が吹き抜ける広域的・骨格的な緑の形成**☆

- ・「海の森」整備
- ・都心の大規模緑地を結ぶ幹線道路の街路樹整備

2 あらゆる都市空間のすき間を活かした身近な緑の創出

☆**東京を緑あふれる都市へ**☆

- ・屋上、壁面緑化の一層の推進
- ・駐車場、鉄道敷地などの緑化
- ・都市開発事業者による自主的な緑づくり
- ・都施設の緑化推進
- ・緑化技術の開発促進

3 校庭芝生化など地域における緑の拠点づくり

- ・校庭芝生化など小中学校の緑化
- ・高校など、その他施設の緑化
- ・地域での「芝生応援団」創設や人材活用

4 既存の緑の保全など質の高い緑づくり

- ・屋敷林、農地など既存の緑の保存
- ・緑の質を高める新たな仕組みづくり
- ・里山や森林など、貴重な緑の保全と再生

5 都民、区市町村、事業者を巻き込む緑のムーブメント

☆**都民、区市町村、民間事業者を巻き込んだ取組の推進**☆

- ・新たな募金の仕組みづくり
- ・緑の保全へ企業やNPOが取り組むパートナーシップの推進
- ・観光農園、グリーンツーリズムなど緑を親しむ機会の創出
- ・身近な緑の環境教育への活用、意識啓発・醸成
- ・都内の街路樹を100万本に倍増